

政研クラブ 泊 義秋 議 員

1 財政について

- (1) 令和4年12月策定の鹿屋市行財政将来ビジョンの進捗と将来の見通しについて示されたい。

また、市税増が見込まれることで市民サービスをいかに向上していくのかの見解を求める。

2 市長の施政方針及び鹿屋市総合計画の取組・推進について

- (1) 基本目標1 やってみたい仕事ができるまちについて

① 活力ある農林水産業の振興及び進捗状況について

ア 農業の担い手の確保・育成の状況及び小規模農家の存在意義と事業承継策について示されたい。

イ 地域担い手育成事業の取組状況及び成果を示されたい。

② 商工業の振興について

ア 鹿屋市中小企業金融支援事業の利用状況を示されたい。

イ 地元中小企業の振興策と事業承継対策について示されたい。

③ 新規工業団地化について用地取得と団地化及び誘致や立地企業の実施計画状況並びに将来構想について示されたい。

- (2) 基本目標2 いつでも訪れやすいまちについて

① 地域資源を生かした観光の推進について、観光分野における広域・官民連携の強化の取組状況と今後の展開について示されたい。

② 今後の高速船就航に関連した観光分野の展開について示されたい。

(3) 基本目標 3 子育てしやすいまちについて

① 子育て支援の充実について

ア 妊娠期から出産期における支援の充実を図っているが、鹿屋市では対象者全てに支援がなされているか示されたい。

イ 不妊治療費助成事業を適用されている御家族がいるが、不妊治療を申請された方の成果等を示されたい。

② 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動推進事業について示されたい。

(4) 基本目標 4 未来につながる住みよいまちについて

① 旧鹿屋市では、現状では西原地区や寿地区が中心市街地としての役割を担っていると思われる。都市機能誘導区域として都市開発を推進した方が発展の可能性もあると思われるが今後のまちづくりはどのように行うのか示されたい。

② 西原地区や寿地区が中心市街地として都市誘導区域の役割を果たすことで、周辺地域も地域拠点地区としての役割を果たすことができると思うがどうか。
なお、人口減少の著しい地区におけるコミュニティーの維持をどのように考えているか示されたい。

③ 合併前の旧町について、再開発を行う必要性が今後重大になって来ると思われるが、今後の計画があれば示されたい。

④ 多極ネットワーク型コンパクトシティ化構想は鹿屋市のみならず多くの自治体の人口減少化等に対応する行政の在り方を示す一案である。市長の目指す資本の集中や進むべき方向性について、いつ起こるかも知れない自然災害やコロナ禍の経験を踏まえた上での推進について示されたい。

(5) 基本目標 5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまちについて

生活困窮者自立支援の相談件数は令和 6 年度で何件程か示されたい。また、自立支援を受けて、自立された事例等について示されたい。

3 投票率向上に向けた職員配置と期日前投票所の増設について

(1) 昨年の県知事選挙、衆議院議員選挙を踏まえ民主主義の根幹である投票行動を促すために投票率向上策は早急な策定が望まれる。そこで、選挙管理委員会を中心に、来る参議院議員選挙や鹿屋市長選挙及び鹿屋市議会議員選挙での投票率向上対策を示されたい。